



総務省

e-かわらばん近畿

近畿総合通信局

2019年8月2日

第272号 1/2

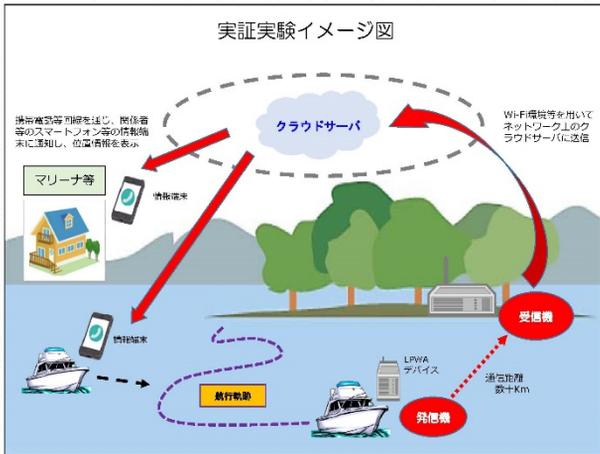
琵琶湖のマリンレジャーの安心・安全を支援する無線通信システム - 構築に向けた実証実験を行いました -



↑マリンレジャー拠点を出発する、位置情報を発信する船舶

実験では、トラブルに遭ったと想定した船舶が発信器を用いて位置情報を発信し、ネットワーク上のクラウドサーバにあった位置情報等を元に、救助船が発信元の船舶を発見できるかどうかを検証しました。マリンレジャー拠点で船舶からの発信を確認した救助船は、スマホで位置情報を確認しながら移動し、実際に発見することができました。

また、防水容器に収納した発信器を取り付けた人が水中に転落し、ライフジャケットを着用して湖面に浮いた状況でも位置情報を発信できるかどうか検証しました。



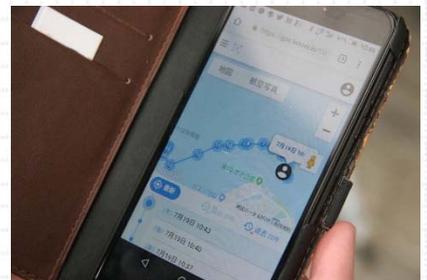
【滋賀県琵琶湖地域における電波有効利用検討会】

座長のほか、マリーナ関係者、消防機関、通信機器メーカー及び滋賀県により構成

近畿総合通信局は、「滋賀県琵琶湖地域における電波有効利用検討会」(座長：神戸市外国語大学 芝勝徳教授)において、琵琶湖でのマリンレジャーを中心とした、船舶の安心安全な航行と関係機関の円滑な活動を支援する無線通信システムの構築及び社会実装をめざした取組を行っています。

2019年7月19日、大津市内のマリンレジャー拠点及び琵琶湖上で、無線通信の通信状態を確認するための実証実験を行いました。

↓パソコンモニタ上に表示された位置情報



スマホでも位置情報を表示できます。

この結果、湖面に浮いた状況でなるべく水没しない発信器の取付位置や発信器が水没した場合の通信状態等の課題が明らかになりました。

今回の実証実験の結果を踏まえ、引き続き、無線通信システムの構築と社会実装を見据え、検討を進めてまいります。



ライフジャケット左肩に装着した発信器

「テレワーク・デイズ2019」実施期間中です - 奈良県三郷町のテレワーク拠点を佐藤副大臣が視察 -

政府では、2020年東京オリンピック・パラリンピック大会1年前である今年の7月22日（月）から9月6日（金）までの約1か月間を「テレワーク・デイズ2019」実施期間と設定し、テレワークの一斉実施を呼びかけています。

なかでも、東京オリンピックの開会式が予定されており、「テレワーク・デイズ2019」のコア日である7月24日には特別企画として、佐藤ゆかり総務副大臣が、奈良県三郷町のテレワーク拠点「奈良サテライトオフィス35」を訪問し、東京

の石田真敏総務大臣や福岡の國重徹政務官とWeb会議を行ったほか、テレワーカーの皆様と意見交換を行いました。

意見交換では子育て中のテレワーカーから、自宅から近くアクセスも良好で、子育てと仕事が両立できる勤務環境であるとの声が寄せられました。

総務省及び近畿総合通信局では、今後も引き続き、テレワークの呼びかけを進めてまいります。



Web会議に臨む佐藤ゆかり総務副大臣（右）
中：森宏範三郷町長
左：佐々木祐二近畿総合通信局長



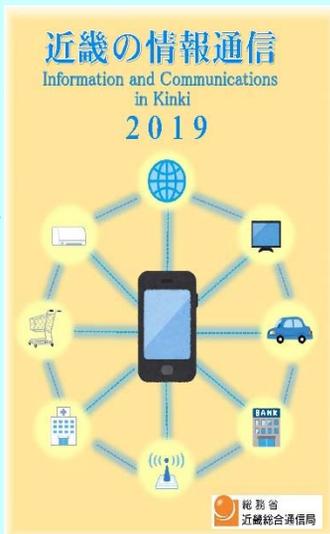
佐藤ゆかり総務副大臣が、福岡の國重徹政務官とWeb会議を行っています。

「近畿の情報通信2019」を発行

-ICT関連ビジネスや災害対策にお役立てください-

当局の主な施策の概要及び情報通信の推進に関する支援状況等を取りまとめた「近畿の情報通信2019」を発行しました。

本誌は、年に2回発行し、当局の取組や各自治体における施策の実施状況など随時更新しておりますので、ぜひICT関連ビジネスの創出や地域の災害対策等にお役立てください。



近畿の情報通信
2019

総務省
近畿総合通信局

近畿総合通信局長に

佐々木 祐二（ささき ゆうじ）が着任

2019年7月5日付けで、近畿総合通信局長に佐々木 祐二（ささき ゆうじ）が着任しました。

経歴等は以下の報道発表資料をご覧ください。

http://www.soumu.go.jp/soutsu/kinki/01sotsu07_01001529.html



タイムリーな情報やトピックスをお伝えします



近畿総合通信局

公式 SNS

